

## 目標達成計画

作成日：平成 24年5 月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	認知症の進行、身体機能の衰えにしたがって、利用者の予測外の行動が増え、転倒やずり落ち、圧迫骨折等の事故が増加傾向にある。職員間に、事故防止の難しさに対する無力感が広がっている。	利用者の行動を抑制しない安全対策を作成する。	認知症の進行を視野に入れた一人ひとりの行動についてアセスメントし、事故防止のための具体的な対策を作成する。	3ヶ月
2	35	年2回、法人合同の災害避難訓練に参加しているが、グループホーム独自の訓練が必要である。	職員一人一人が、中間・夜間・火災・地震の際に、自信を持って避難誘導に当たれる。	法人合同の訓練のほか、グループホーム独自の災害避難訓練を実施し、さらにディスカッションにより職員各自が行動を確認する。	1年
3	23	ケアプランや病気、現行の制度等への理解の程度が職員によって異なり、家族や外部からの質問等に十分対応できないことがある。	その日の担当職員が、外部からの質問、相談に応じられる。	申し送り書、ミーティング、業務日誌の活用。計画的な研修により理解を深める。	1年
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。